

# 学生サークル出身者 座談会

学生時代のサークル活動を通じて人形劇の世界に飛び込んだ面々を集め、座談会を敢行！  
自身も愛知県立大学の人形劇サークルで活動を開始したという児玉典子の進行で、  
世代の異なる4人に入部のきっかけや現状への想いを尋ねました。



<p>はやしたつみ <b>林 達美</b> 所属：人形劇団むすび座 出身：南山大学</p>	<p>ゴマモト ダイ 所属：人形劇団あつちらん 出身：日本福祉大学</p>	<p>ゆみだてさとこ 所属：Puppet Theaterゆめみトランク 出身：名古屋大学</p>	<p>なかがわゆい <b>中川 唯</b> 所属：愛知教育大学子ども向け人形劇サークルじゃんけんぼん 愛知教育大学在学中</p>
---	---	--	--

——— 皆さんが人形劇サークルに入ったきっかけは？

林 約40年前、南山大学の先輩がやっていた人形劇を見て感動して、人形劇団へのひらに入りました。他大学との交流も盛んで、毎週日本福祉大学に集まっては、終電まで人形劇について熱く語り合ったな。

ゴマモト 約20年前、丹下進さんが日本福祉大学で授業をしていて、人形劇を通して子どもと触れ合う姿に感動して児童文化部あかとんぼに入りました。キャンパスが、名古屋から知多半島の美浜町へ移ったあとの時代です。

林 日本福祉大学が移ったのは一つの転機だったと思う。そこだとみんなが集まりにくくて…拠点が無くなってしまった。

ゆみだて 約15年前かな。小さいサークルを探していて、人形サークルどんぐりに入りました。名古屋大学の人形劇は部員数が少なく、先輩の劇も面白かったので、自由に劇を作っていましたね。たまに保育園の先生に「子ども向きじゃないね」なんて怒られたりしたけど。

——— 私自身は手芸が好きだったから、人形を作りたくて愛知県立大学の人形劇サークルとびねこに入りました。約10年前です。部員数が年によって波があって、2人しかいない時もあったな。

中川 いま愛知教育大学の3年生です。人形劇ならできかなと思って現在のサークルに入りました。ところで皆さんは今も人形劇を続けていますが、それはなぜ？

聞き手：愛知人形劇センター・理事 児玉典子

# REPORT

## 人形劇の旅 ～いいだ編～

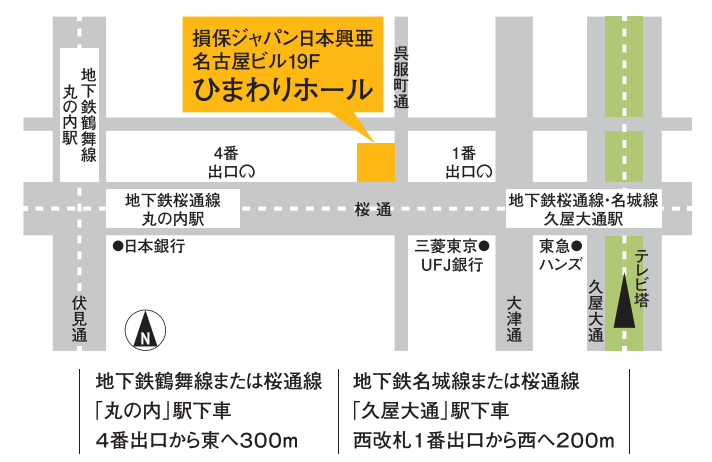


「人形劇制作ワークショップ「人魚姫」」人形造りの指導をする演出くすのき燕氏

37年の歴史を持つ国内最大級の国際人形劇フェスティバル「いいだ人形劇フェスタ」。その開催地である長野県飯田市で、2013年に立ち上がった「いいだ人形劇センター」。フェスタ開催の合間を縫い、事務局の坂本美帆さんにお話を伺いました。

いいだ人形劇センターは、「人形劇のまち飯田」から人形劇を通してわくわくを発信する、という思いのもと、2013年に設立されました。年間を通じて国内外の人形劇公演、地域の劇団による定期上演、ワークショップを積み重ねながら作品の創造を追求する「人形劇制作ワークショップ「人魚姫」」「沢則行フィギュアシアターデザインコース」「こま撮りアニメーションワークショップ」、季刊情報誌「Dogushi 朋串」の発行、人形劇に関わるパネルディスカッションなどを実施してきました。また、いいだ人形劇フェスタ実行委員会より委託された人形劇フェスタ記録映像製作や、指定管理者として川本喜八郎人形美術館の管理運営も手がけています。

飯田市の人形劇は、300年余の歴史を有する人形浄瑠璃を礎として、



①「沢則行フィギュアシアターデザインコース」誰かがどこかでやったものでない美術・舞台プランを提案

②人形劇のまち飯田の季刊情報誌「Dogushi 朋串」

「いいだ人形劇フェスタ」へとつながり、飯田市を代表する市民文化として定着してきました。しかし、日常的に人形劇に親しめる機会が少ないことや、人形劇に関する専門的な支援が十分でないとの声も聞かれます。また、南信州広域連合が2010年11月に策定した「リニア将来ビジョン」に掲げられた「小さな世界都市」の実現に向けて、新たな人形劇への挑戦や人形劇に関する学術研究を進め、国内外への情報発信力と世界との結びつきを強めていくことが求められています。

こうした課題解決に向けて市民・人形劇人・行政が協働できる場として、人形劇支援活動に取り組んでいます。

飯田市は、現代人形劇もさることながら伝統人形劇が根付いている地域。300年余の歴史を踏まえ、民間と行政が一体となって人形劇を世界発信していくビジョンに、人形劇の未来を感じました。

愛知人形劇センター・事務局 中康彦

特定非営利活動法人  
**愛知人形劇センター**  
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21  
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F  
TEL&FAX 052-212-7229  
http://aichi-puppet.net/  
MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター  
ひまわりホール情報誌  
**あぶ**  
愛知人形劇センター  
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21  
TEL&FAX 052-212-7229  
http://aichi-puppet.net/  
MAIL:mail@aichi-puppet.net

# あぶ

Aichi Puppetry Center  
ひまわりホールから  
発信する  
シアター情報誌

2015 AUTUMN  
VOL. 294  
http://aichi-puppet.net/



「いいだ」で大暴れ!?

P 新人賞歴代カンパニーが



いいだ人形劇フェスタ2015「特集 愛知の人形劇」に参加した、P新人賞受賞作品の舞台より、上からPuppet Theaterゆめみトランク(愛知県)「やぎのおはなし」、人形劇団ネンネンネムねむり鳥(東京都)「幽霊〜ネムリドリ・ゴーストストーリー」、banko(神奈川県)「さなぎのとき」、ペビービー(京都府)「桜の森の満開の下」

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。